

テレビ静岡では番組の適正化を諮るための審議機関「番組審議会」を設けています。

このページでは番組審議会の議事の概要をお知らせしています。現在、テレビ静岡では県内在住の8名の方に審議委員をお願いしており、毎月1回（2月、8月は休会）番組について、ご意見を伺い、今後の番組制作の参考にさせていただいています。

テレビ静岡 2023年6月度 番組審議会概要

2023年6月8日（木） 14時00分～

— 出席委員 —

高木 正和（委員長） 戸崎 文葉（副委員長） 石田 美枝子 上柳 正仁
飯野 勝己 志田 倫子 青山 博美（欠席） 栗田 泰吉（レポート出席）

— 議 題 —

番組名 「生涯教師—自分らしく生きる意味—」

※FNS ドキュメンタリー大賞応募作品

放送日時 2023年5月28日（日） 13時30分～14時25分

制作著作 テレビ静岡

— 番組内容 —

2022年2月、30歳でスキルス胃がんのステージⅣであると診断された高校教師。宣告された余命は、治療した場合でも約1年。学校は休職し、限られた時間を思い残すことがないよう家族や友人との時間に明け暮れた。しかし数カ月ほど経った時「今のままで良いのか」ふと己の生き方に疑問を持った。家族はもちろん、知人・友人の誰も彼が死ぬなんて思っていない。治療も順調、元気な状態も維持できている。何より生徒に対し、常に「苦しい時に出る姿こそ本当の自分」という言葉を投げかけてきたのに「このまま死んで後悔しないだろうか？」と自問自答した。教師という仕事に誇りを持っている。導き出した答えは、自分らしく前を向き高校教師として生き続けることだった。がんと闘った証を残そうと YouTube での発信も始めた。授業はできなくても経験や思いを伝えることができると講演活動も始めた。「努力や挑戦に失敗はない。仮に自分に死が訪れても、必ず自分の分まで頑張ろうと思ってくれるはず」と断言する。31歳になった若き男性教師の生き様を記録した。

— 審議概要 —

- ◎闘病を題材とした番組は見るのが辛いものだが、困難を困難と思わせない主人公の前向きな性格と意志の強さ、教師や剣道、家族への思いが強く伝わってきた。闘病を描きながら良い意味で番組に“重苦しさ”を感じさせないのは、ひとえに彼の人柄によるものだと思う。
- ◎叙情的になり過ぎず事実を淡々と伝えていて、タイトルの通り「生きる意味」について考えさせられた。
- ◎主人公の言葉は明確で、病気に限らず、何かうまくいかない時にもあてはまる普遍的なメッセージで、胸に響いた。
- ◎主人公の自宅や家族まで取材し、自然な姿が描かれていて、取材対象との信頼関係を感じた。
- ◎主人公の前向きさを反映したような番組のテンポの良さや、印象的な映像など、構成・演出面でも工夫されていた。

以上、制作部門にフィードバックし、今後の番組作りの参考とさせていただきます。

次回の番組審議会は2023年7月13日（木）の予定です。